※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　地理歴史　　科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書	歴史総合　近代から現代へ（山川出版社）						
副教材等	歴史総合　近代から現代へ　ノート（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書・ノートを使用し、一斉授業・グループ学習・レポート作成などの学習活動をおこなう。
グループ活動やレポート作成などを行うが、積極的に参加すること。

2　学習の到達目標

(1)世界とその中の日本を広く相互的な視野から近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを多面的・ 多角的に考察する力を養う。
(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を 主体的に追究，解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野にいれて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	近代化と私たち	1. 結びつく世界 2. 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	a:18世紀の日本やアジア、ヨーロッパ、アメリカがどのように結びついていたか理解している。 b:近代の改革や革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:近代の改革や革命が国内外にもたらした様々な変化を追求しようとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
		3. 明治維新と日本の立憲体制 4. 帝国主義の展開とアジア	a:帝国主義による世界分割や欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 b:アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 c:帝国主義政策や欧米諸国の進出とアジアの変容が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
2	国際秩序の変化や大衆社会と私たち	1. 第一次世界大戦と大衆社会	a:第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯や、ヴェルサイユ条約により形成された国際秩序を理解している。 b:第一次世界大戦の総力戦体制や新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 c:大衆の戦争参加やヴェルサイユ体制の成立が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
		2. 経済危機と第二次世界大戦 3. 戦後の国際秩序と日本の改革	a:世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯や国連を中心とする新たな国際秩序について理解している。 b:国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたかについて考察し、自らの言葉で表現している。 c:世界恐慌後の各国の政治判断や、国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
3	グローバル化と私たち	1. 冷戦と世界経済 2. グローバル化する世界	a.1960年代から1980年代における各国の選択と経済成長や冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している。 b:グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自らの言葉で表現している。 c:冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
		3.現代の課題	a:経済格差、エネルギー問題、人口減少などの課題に対して、どのように対応していけばよいか理解している。 b:地域紛争やテロ、自然災害について今後どのように対応していけばよいかを多角的に考察している。 c:近隣諸国との関係について、防衛強化の面、平和と安全の面といった多面的・多角的視点からよりよい在り方を追求しようとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度